

## 第 2 回開設準備検討会における主な意見

### 1 議題 「県立高校再編の実施計画における新高校の開設準備について」

### 2 主な意見

#### (1) 高校再編に係る学習活動や学校行事、部活動等に関すること

- ① 新高校の学習活動、学校行事、部活動については、両校のこれまでの歴史を踏まえながら、両校の良いところをできるだけ活かした形で継承してほしい。
- ② 新高校の施設設備の整備など教育環境の充実についての要望は、地域・中学校等、PTA、同窓会の三者からいただいているので、しっかりと対応をしてもらいたい。
- ③ 今回の再編では、特色ある部活動を新高校に引き継いでいくので、これに配慮し、「基本的な考え方」の施設設備整備の部分は、部活動も含めた文言にした方がよいと思う。
- ④ 新高校が設置されない再編対象校には、学習活動、学校行事、部活動の面で支障が出ないように、また、「この学校の生徒でよかった」と胸を張って卒業できるように、特段の配慮をしてほしい。
- ⑤ 新高校が設置されない再編対象校では、生徒が少なくなっていくので、学習面では教員数の手厚い配置、そして、部活動や学校行事を合同で活動する場合は、移動手段、指導者などに配慮してほしい。
- ⑥ 中学生とその保護者に高校再編の概要を周知することはとても大事なので、リーフレット作成はありがたい。今後も情報を提供してほしい。また、子どもたちはネットをよく利用するので、ホームページの充実を図ってもらいたい。
- ⑦ 前期再編の評価は、生徒目線から見ても教育環境が整備され、想像以上に成果が得られていることがわかった。
- ⑧ 前期再編では、通学に 30 分以上かかる生徒の割合が増えているところもあるが、選ばれる学校となり、少々距離が離れていても通いたい学校になったという見方もできるといった。
- ⑨ 前期再編を見てもわかるように、再編で学校規模が大きくなることによって、切磋琢磨する環境が生じ、自然に活気が出てくるはずである。

- ⑩ 4件の再編統合については、4件共通で出せる原則もあろうが、学校の意見もよく聞いて、個別の事情に配慮した方がよいケースもあるのではないかと。

## (2) 新高校の名称、校歌、校章等に関すること

- ① 高校と地域についての教育再生実行会議の提言は、再編対象校のみならず普通科全体が対象となっており、校名そのものとは次元の違う問題になっているので、校名と関連づけて検討する必要はないと思う。
- ② 地域との結びつきを意識した取組みは、とても意義深いことではある。しかし、学校所在地の地域名を校名にしていくことが、大切であると思う。
- ③ 校名については、ある地域に学校があれば、その地域の名前を付けていくというのがこれまでの流れであり、ごく普通の判断だと思う。
- ④ 校名については、基本的に親しみやすくわかりやすいものがよいと思う。
- ⑤ 校名については、その学校の伝統などを踏まえながら、その学校の未来も見据えて検討していくべきである。過去をリセットして斬新な校名とすることは、難しいと思う。
- ⑥ 再編対象校のメモリアルの整備も検討していく必要があると思う。
- ⑦ 校名がそのまま残るのであれば、校章、校歌もそのまま残すということも考えられると思う。

## (3) 会長まとめから

- ① 前期再編の検証資料も踏まえると、前期再編の「基本的な考え方」の大幅な変更を考える必要はないのではないかと意見が多かったと思う。そのまま踏襲するわけでは決してなく、よいところを今回のものに受け継いでいけばよい。
- ② 校名については、再編対象校だけを取り出して議論するのではなく、県立高校全体のこれまでの傾向を踏まえて考えていく必要があると思う。
- ③ 今回の再編は、職業科の再編が実施された前期再編とは異なるので、こうしたことで「基本的な考え方」の部分修正が必要になると思う。
- ④ 校歌、校章など具体的なことについては、さらに議論が必要であるが、これまでの伝統の継承も考えるべきで、新しい学校を作るから全てリセットでよいということはないと思う。
- ⑤ メモリアルについては、デジタル・アーカイブ的な形で、誰でも見られるような整備方法もあってよいと思う。
- ⑥ 委員の皆さんからいただいた方向に沿って、私と神川副会長で第3回検討会に向け、「基本的な考え方」の原案を取りまとめたい。